

ケアプランについて

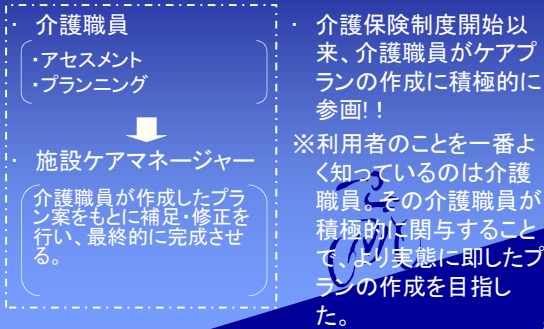
西島寮におけるケアプラン作成 に関する振り返りと今後の展望

施設概要



- ・ 昭和62年7月開設(定員50名)
- 平成4年4月増床(定員80名 短期入所20名)
- 個室…6 2人部屋…3 4人部屋…22
- ・ 地域特色
- 浜松市南区の農村地域。地域内に生活保護受給者用・高齢者専用等の公営住宅もあることから福祉ニーズは高い。

ケアプラン作成の流れ

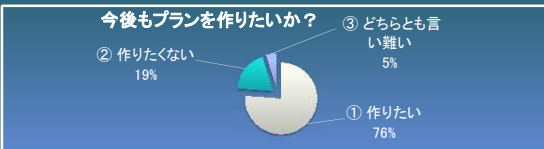


プラン作成における問題

・プランの作成が遅れがち になってしまった

⇒問題の所在を確認するために職員にヒアリングを実施

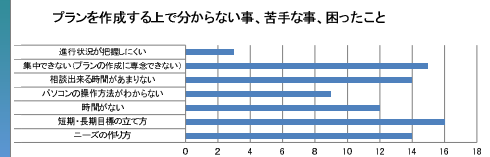
職員へのヒアリングより①(評価点)



⇒今後もプラン作成に積極的に携わりたいという意見が多く、その理由として下記のような意見がでた

- ・ 利用者の状態把握が出来る
- ・ やりがいを感じられる
- ・ 利用者の要望を意識しながら業務に携わる事が出来る
- ・ 利用者の「QOLを高める為の援助」に考えが及ぶようになった

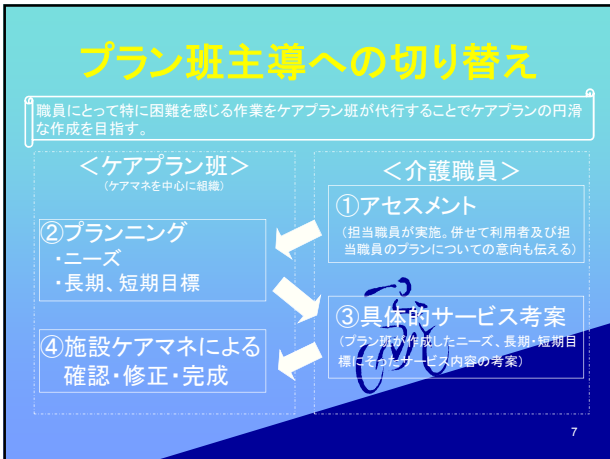
職員へのヒアリングより②(課題)



職員へのヒアリングより上掲のグラフのような結果となった。

- ・ 文章化するのが難しい
- ・ 業務に追われる為プラン作成に使える時間が足りない
- ・ パソコンの操作に不慣れ(誤操作の結果データを消してしまうのでは…)
- ・ 通常業務の合間に行うので他職員の意見を聞きにくい

プラン作成を進行する上で上記のような難しさ抱えていることが分かった。



- ## 結果と課題
- ・担当職員からのアセスメントや意見聴取等に時間がかかり思う様に進行しない。
 - ・ケアプランに関する業務分担の周知、徹底が不足したため介護職員に若干の混乱が見受けられる。
 - ・ケアプラン班の仕事が増えた為ケアプラン班の活動時間を増やしたが当初の想定よりも処理が進まず結果として時間の不足という問題については根本的な解決に至っていない。
 - ・ケアプラン班自身のケアプラン作成に関する習熟および知識の不足も改めて課題として浮き彫りになる形となった
- 8

